



# 大阪プロバスクラブ

会報 第385号

2023年10月11日発行

Monthly Bulletin of  
The Probus Club of Osaka

- 例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111  
 例会日：2022年7月より毎月第2水曜日 12時～14時  
 ○創立2001（平成13）年7月9日創立記念式7月16日  
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ  
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ  
 ○会長：山下恵司 ○幹事：川端崇且 Tel：090-2702-7212  
 ○事務局：（幹事宅）〒562-0044 箕面市半町2-5-23  
 ○会報担当：西宮富夫 [pxi06603@nifty.com](mailto:pxi06603@nifty.com)  
 ○大阪プロバスクラブ会報：<http://osakapurob.exblog.jp/>  
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>  
 （R4年11月の第10回総会で決定された新体制）  
 会長 田中信昭、幹事長 一瀬 明、会計 飯田富美子  
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：  
<http://probuscent.exblog.jp/>

## R5年9月初旬～R5年10月初旬までの更新分（順不同）

| クラブ   | 会報             | 記事一部  |
|-------|----------------|---|
| 旭川    | 会報第218号        | 移動例会”ピアピリカ”、新しい仲間が入りました。ハッピーボックス、懇親会写真、他                        |
| 東京八王子 | プロバスだより第334号   | 昭和10年生会員卓話「私の8月15日」岩島寛、濱野幸雄、高取和朗、土井俊宏、橋本治義、杉山友一、「同好会報告」田中信昭会員、他 |
| 東京多摩  | 会報第108号        | 第20期定期総会（新理事、委員会活動計画、他）、ハイブリッド例会卓話（伊藤健一会員）、他                    |
| 神戸北   | 10月例会案内        | 10月5日野外研修「日本三景天橋立」11人乗レンタカー（森田守彦会員運転）、ひとこと「瞑想」中戸文代、他            |
| 大阪    | 会報第384号        | ビアパーティ、ゲスト①「サンタフェのサンミゲル教会取材経験」、ゲスト②「奈良は国宝が多くしかも触れる」、他           |
| 奈良    | 会報第112号        | はんなり着物部譲渡会、納涼会、会員寄稿「月の砂漠」に寄せて、創立10周年ツアー「カニカニツアー」、他              |
| 北九州   | 月報5年9月号 NO.207 | 暑気払い、同好会活動報告（ワインを楽しむ会、食美会、日本酒の会、歴史文学講座）、随筆「買いたいけど、買えない？」植田佐世子、他 |

## ●『小さい秋見つけた』

作詞：サトウハチロー、作曲：中田喜直

誰かさんが 誰かさんが 誰かさんが みつけた  
 ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた  
 めかくし鬼さん 手のなる方へ 澄ましたお耳に  
 かすかにしみた 呼んでる口笛 もずの声  
 ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた

前回 第385回 通常例会 2023年9月13日（水）  
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00～14:00

## ◎通常例会

- 司会進行：永田慎一会員  
 ○ソング：吉川栄子会員 ●『うさぎ』  
 ○食事タイム

★乾杯：全日本プロバス協議会 田中信昭会長



ワイン名：シガリユスブラン（2021）

画像引用元：ピーロートジャパン（株）シュガリスブランより

生産者：ジェラルール・ベルトラン

画像引用元：ENOTECA online 記事「世界中から愛される南仏屈指のヒットメーカー ジェラルールベルトラン」より

生産地：ラングドック・ルーシオン（南フランス）

（以下 Wikipedia より）温暖で夏に雨の少ない文字通りの地中海性気候のこの地方はぶどうの栽培に最適で、（中略）ぶどうを植えばなしにしておけばそこそこの収穫があり普段飲むのには申し分のないワインができるため、「お茶がわり」あるいは「歯磨き用」などと揶揄される安ワインの産地だった。

しかし国民の生活水準が向上し、（中略）お茶代わりにワインの需要が減ったため、（中略）ボルドーなどから、厳しい規制にとらわれず自由によいワインを作りたいという優れた醸造家が多数移入してきたこともあり、現在のはかなり評価の高いワインがとれるようになった。

フランスワインの産地地図（JOYLABの同名記事より）



今回 第386回 移動例会 2023年10月11日（水）

会場：池田さつき会高齢者ホーム「ポプラ」見学  
→箕面公園「風の杜」 10:00～15:00

## ●大阪プロバスの歌（作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎）

- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時  
 元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
- ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ  
 見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
- ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気  
 世界に広がる和の願い 明日も愉快地に生き抜こう

### ○山下恵司会長挨拶要点：

今日は全日本プロバス協議会田中会長、一瀬幹事長をお迎えしています。全日本は2024年8月8日に青森五所川原にて第11回総会を開催予定で、当クラブとしても協力したいと考えています。なお、個人的には阪神が勝ち進み、毎日楽しく過ごしております、とのこと。

### ○全日本田中会長ご挨拶要点

今日は大阪プロバスクラブの例会に参加させていただいています。現在、月一で全国のプロバスクラブを訪問させていただいています。既に旭川、吉岐の島プロバスクラブなど訪問いたしましたとのこと。

### ○全日本一瀬幹事長ご挨拶要点

来年2024年8月8日の全日本第11回総会・五所川原大会当日は立佞武多祭りにも参加予定です。大きな立佞武多には圧倒されます。是非ご参加下さいとのこと。



田中会長



一瀬幹事長

○幹事報告：特になし

○親睦活動委員会浅山委員長：10月移動例会のご案内を配布しております。ご参加宜しくお願いたします。

○誕生月会員：左から（9月）野村尚子会員、（中央）山下会長、（9月）浅山紀久子会員



○出席報告：担当委員長より会員11名、全日本からゲスト2名との報告あり。

○OH-BOX 担当委員長より6名15,000円との報告。

★山下恵司会員：会長・幹事様ようこそお越し下さいました。

★宮田鐵夫会員：全日本プロバス協議会会長・幹事様をお迎えして。

★西宮富夫会員：全日本会長・幹事様、ようこそおいただきました。長い間お世話になっております。

★浅山紀久子会員：例会所も決まり嬉しいですね。親睦会の方よりお願いで本日は本部より会長様、幹事様をお迎えしての例会日嬉しいですね。元気で楽しい会であります様。10月移動例会もよろしくお願致します。

★野村尚子会員：全日本会長田中様、幹事一瀬様ようこそお越し下さいました。

★氏名不詳：全日本プロバス協議会会長・幹事さん、ようこそ大阪プロバスクラブに。

### ◎卓話「サンチャゴ巡礼路について」田中浩三会員

私は今、サンチャゴ・デ・コンポステーラへ巡礼することを目標にしています。そのため集めた文献「**スペインサンティアゴ巡礼の道**：実業之日本社高森玲子著」「**サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼**：傳書房高原礼子著」を参考にサンティアゴ巡礼路についてお話をさせていただきます。

（会報担当より：田中会員より卓話目次メモをいただきましたので、メモに沿って項目ごとに整理しました。また、**サンティアゴ巡礼路と姉妹提携にある和歌山県熊野古道**にも触れられましたので、比較のためにも熊野古道も併せて記事にさせていただきました。）

### ●サンティアゴ・デ・コンポステーラ

★サンティアゴとは（以下：日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会「サンティアゴ巡礼とは」より引用）

**サンティアゴ**とは聖ヤコブのスペイン語。ヤコブはイエスの十二使徒の一人で、紀元44年時のユダヤ王アグリッパに迫害され斬首された。十二使徒中最初の殉教者となり、殉教者はすぐに列聖されたため、ヤコブは聖ヤコブとなった。

ヤコブを斬首したもののキリストの復活を知る王はヤコブの復活を恐れ、その地に遺骸を埋葬することを許可しなかった。聖ヤコブの死を悼んだ弟子のテオドーロとアタナシウスはその遺骸をこっそり小舟に乗せ風に行く先を任せた所、たどり着いたのはガリシアのパドロン港、イリア・フラビア。弟子たちはその地に聖ヤコブの遺骸を埋葬しましたが、時の流れの中、いつしか聖ヤコブの亡骸は行方不明になり存在も忘れさられた。

### ★聖ヤコブの墓の発見と大聖堂（地下に聖ヤコブの墓）

（以下、サンティアゴ・デ・コンポステーラ Wikipedia より）

伝説では、イスラム勢力から離れた9世紀に聖ヤコブの墓が発見され、アルフォンソ2世によってローマ時代の集落の跡地に新たな集落と実質的にイリア司教座となる教会が作られたのが、サンティアゴ・デ・コンポステーラの基礎となっている。

（中略）この大聖堂の（中略）地下に降りるとヤコブの墓がある。ヤコブの聖遺品が置かれ、エルサレムからヤコブの遺体を運んできたとされているテオドーロとアタナシウスがその傍らで眠っている。（中略）主祭壇では下から、使徒姿のヤコブ、巡礼姿のヤコブ、戦うヤコブ、と三変化を見ることができる。



大聖堂（画像引用元：サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路：カミオ・フランシスとスペイン北部巡礼路）



## ●キリスト教三大巡礼地

(以下、世界遺産データベース「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路：カミーノ・フランセスとスペイン北部の巡礼路群」より引用、以下、世界遺産データベースという。)

**ヤコブ信仰**はキリスト教の象徴となって**レコンキスタ**を活気付かせた。(中略) サンティアゴ・デ・コンポステーラの名前は10世紀にはピレネー山脈を越え、(中略) フランス各地から巡礼者が訪れるようになった。11世紀には巡礼者の法的保護が進み、(中略) レオン、パンプローナといった山地の町々を巡礼地として整備し(中略) フランス人を配して巡礼路の拡充を進めた。これがフランス国境からイベリア半島北部の山地を横断する「フランスの道」(中略) となった。(中略) いつしかサンティアゴ・デ・コンポステーラはエルサレム、ローマ&バチカンと並ぶ**3大聖地**に数えられた。

## ★最後の晩餐に描かれた聖ヤコブ

田中会員によると、イタリア、ミラノ、サンタマリア・デッラ・グラッツェ教会食堂壁画「最後の晩餐」(レオナルドダビンチ)には12使徒の一人聖ヤコブが描かれているが、キリストの隣に座っているので、影響力の高い使徒と考えるとのこと。(画像引用元：サイト西洋絵画美術館レオナルドダビンチ最後の晩餐：大ヤコブ周りを拡大。)



## ★世界遺産登録 (Wikipedia より引用)

- Routes of Santiago de Compostela: Camino Francés and Routes of Northern Spain (UNESCO)
  - スペイン
  - 登録年：1993年、2015年重大な変更
  - 資産面積：15ha
  - バッファゾーン：9,282ha
  - 登録基準：文化遺産(2)(4)(6)
- (登録基準説明引用元：世界遺産データベースより)

### ○登録基準(2) = 重要な文化交流の跡

サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路はイベリア半島とヨーロッパの他の地域との間で、中世はもちろんその後の数世紀にかけて文化の双方向の交流と発展に重要な役割を果たした。(略)

### ○登録基準(4) = 人類史的に重要な建造物や景観

サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路は宗教的な建物と世俗的な建物、道や橋などの土木構築物、(中略) といった多様な建造物群を特徴とする。(略)

### ○登録基準(6) = 価値ある出来事や伝統関連の遺産

サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路は中世およびそれ以降の時代の(中略) 人々の信仰を示す際立った証拠である。

## ★カミーノ・フランセス (フランス人の道)

「カミーノ・フランセスとスペイン北部巡礼路」は、(中略) 最もポピュラーで「フランスの道」と呼ばれる巡礼路です。

巡礼路はいくつかありますが、各々がスペインのプエンテ・ラ・レイナで合流し、800km西方へ向かってサンティアゴ・デ・コンポステーラへと至ります。この途中にはカスティージャ・イ・レオン州に属する古都ブルゴス、旧レオン王国首都であったレオンがあります。



緑線がフランス人の道(画像引用元：スペイン巡礼・所要日数とルート選びのコツより)

## ★カミーノ・フランセス出発地・途中の街

(田中会員卓話より)

- サン・ジャン・ピエ・デ・ポー：サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼出発点。
- パンプローナ：牛追いまつりが有名
- イラーチェ：蛇口からワインが出るポイントがある。
- ログローニュ：スペインの高級ワイン生産地



(画像引用元：サン・ジャン・ピエ・デ・ポー バスク文化に染まる宿場町より)

## ★巡礼の必需品など (田中会員卓話より)

- 巡礼手帖(クレデンシャル)：巡礼中のパスポート
  - 巡礼証明書(コンポステーラ)
  - アルベルゲ：巡礼者を対象とした宿
  - 黄色い矢印：サンティアゴ巡礼のシンボル
  - ホタテ貝：サンティアゴ巡礼のシンボル
- (ホタテ貝画像引用元：なぜスペイン サンティアゴ巡礼のシンボルはホタテ貝なのか?より引用)
- (黄色い矢印画像引用元：Googleart&culture 黄色い矢印とホタテ貝より引用)



ホタテ貝と瓢箪



黄色い矢印

## ◎カミーノ・フランセスの姉妹道提携「熊野古道」

### ●熊野古道（くまのこどう）（Wikipedia より）

熊野古道は熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）へと通じる参詣道の総称。熊野参詣道ともよばれる。主に以下の6つの道を指す。

- ・紀伊路（渡辺津 - 田辺）
- ・小辺路（高野山 - 熊野三山、約 70km）
- ・中辺路（田辺 - 熊野三山）
- ・大辺路（田辺 - 串本 - 熊野三山、約 120km）
- ・伊勢路（伊勢神宮 - 熊野三山、約 160km）
- ・大峯奥駈道（吉野 - 熊野三山）

これらの多くは、2000年に「熊野参詣道」として国の史跡に指定され、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部としてユネスコの世界遺産（文化遺産）として登録された。なお、紀伊路は含まれていない。

（※）会報担当より：熊野三山の主神は次の通り。

「熊野本宮大社＝スサノオ尊」、  
「熊野速玉大社＝イザナギ尊・イザナミ尊」2神、  
「熊野那智大社＝イザナミ尊」

### ●熊野古道の歴史（同Wikipedia より）

熊野古道は、**中世期に日本最大の霊場として隆盛した熊野信仰**という一貫した目的のために、1000年以上も使われ続けてきた。

### ★熊野御幸（くまのごこう）（同Wikipedia より）

熊野三山は、天皇から貴族、庶民に至るまであらゆる階層の人々の信仰を集め、皇室で参拝したのは、平安時代中期の908年に行われた宇多法皇の熊野御幸が最初と言われる。熊野御幸とは、上皇の熊野詣のことで、1281年の亀山上皇の熊野御幸まで、その期間は374年間、94回行われた。

（会報担当より：現在では京都駅から那智大社の最寄り駅 JR 那智駅まで車では274km。よって、歩きによる熊野御幸は約300km。また往還約30日とのこと。）

### ★世界大百科事典内の熊野三山言及（コトバンクより）

【熊野】より…クマノとは靈魂の籠（こも）る地との意味があるらしく、早く《日本書紀》神代巻に、イザナミ尊が火神を生むとき灼（や）かれて死んだので、紀伊国の熊野に葬ったとある（※）。やがてこの地に熊野三山と称される霊場が開かれると、神秘的な伝承が数多く発生し、**死者の霊は遠隔の地からもこの熊野へ行くものだから、熊野へ行けば死者の霊に会えるとかの信仰を生んだ（熊野信仰）**。山岳が重畳し、交通きわめて不便であったにもかかわらず、（中略）熊野三山参詣のためにはるばる足を運ぶ人が、古代末期から中世にかけて増大した（熊野詣（くまのもうで））。

（※会報担当より：記紀ではイザナミを葬った後、イザナギはイザナミに会いに黄泉の国に行く。そしてイザナミに合う。記紀では黄泉の国の死者に会えるとされている。）

### ●世界遺産姉妹道提携（上記熊野古道 Wikipedia より）

世界遺産として登録された「道」の先例である「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」の最終地であるスペインのガリシア州と、熊野古道の最終地である和歌山県とは、古道の最終地としての永続的な友好関係を確立するため、1998年10月9日に両古道の姉妹道提携を締

結した。その後、熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」もユネスコの世界遺産に登録されたため、道の世界遺産どうしの交流が続いている。

### ★世界遺産登録：紀伊山地の霊場と参詣道

（以下、Wikipedia より）

- ・ Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range
- ・ 日本
- ・ 登録年：2004年
- ・ 資産面積：506.4 ha
- ・ バッファゾーン：12,100 ha
- ・ 登録基準：文化遺産(2)(3)(4)(6)

○登録基準(2)：紀伊山地の文化的景観を形成する記念碑と遺跡は、神道と仏教のたぐいまれな融合であり、東アジアにおける宗教文化の交流と発展を例証する。

○登録基準(3)：紀伊山地の神社と仏教寺院は、それらに関連する宗教儀式とともに、1000年以上にわたる日本の宗教文化の（中略）優れた証拠性を有する。

○登録基準(4)：紀伊山地は神社・寺院建築のたぐいまれな形式の創造の素地となり、それらは日本の紀伊山地以外の寺院・神社建築に重要な影響を与えた。

○登録基準(6)：紀伊山地の遺跡と森林景観は、過去1200年以上にわたる聖山の持続的で並外れて記録に残されている伝統を反映している。

### ★熊野古道 MAP（熊野古道 Wikipedia より）



### ◎姉妹道の比較表（会報担当作成）

|     | カミーノ・フランセス                        | 熊野古道   |
|-----|-----------------------------------|--|
| 目的地 | サンティアゴ・デ・コンポステーラ（大聖堂）参拝           | 熊野三山参詣：<br>本宮（スサノオ）<br>新宮（イザナギ・イザナミ）<br>那智（イザナミ） |
|     | ヤコブ信仰                             | 熊野信仰   |
| 巡礼路 | サン・ジャン・ピエ・デ・ポーより<br>約800km、片道約33日 | （上皇御幸で比較）<br>京都市南宮より<br>約300km、往還30日             |
| 登録  | 1993年、2015年<br>登録基準：2, 4, 6       | 2004年<br>登録基準：2, 3, 4, 6                         |

次回 第387回 通常例会 2023年11月8日（水）  
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00